

1. 科目名 (単位数)	肢体不自由教育 I (2 単位)		3. 科目番号	SSMP2452 SCMP2452
2. 授業担当教員	八重樫幸雄			
4. 授業形態	講義、グループ討議	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	本科目では、肢体不自由児の特徴を理解するとともに、児童生徒一人ひとりのニーズに応じた支援や教育のあり方、指導計画の立て方、指導の実際、評価など、それぞれの留意点について論じる。また、重度重複障害や医療的ケアを要する児童生徒への医療との連携による教育のあり方、肢体不自由児の自立を目指した教育を実践していくうえで、将来的展望に立って、教師に求められる役割や、指導、支援のあり方について考察する。			
8. 学習目標	<p>【期待される効果】以下に関して理解し、説明することができる。</p> <p>① 肢体不自由児の発育・発達・健康特性に関する基礎知識</p> <p>② 肢体不自由児教育の歴史と今日的な課題</p> <p>③ 重度重複障害児のニーズに応じた指導と医療的ケア</p> <p>④ 自立活動の意義や肢体不自由児の具体的な指導のあり方</p>			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>・アサイメント 事前学習、事後学習で取り組んだ内容を毎回のワークシートに記述する。</p> <p>・学習課題 自立活動の「個別の指導計画」と指導案を作成する。</p> <p>・レポート課題 特別支援教育における肢体不自由教育について論述する。2400字</p>			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】文部科学省『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編(幼稚園・小学部・中学部)』開隆堂出版 2018。</p> <p>【参考書】 篠田達明監修『肢体不自由児の医療・療育・教育 改訂3版』金芳堂、2015年 日本肢体不自由教育研究会監修『肢体不自由教育の基本とその展開』慶應義塾大学出版会、2011年</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 肢体不自由教育における自立活動を理解し、説明できるか。</p> <p>2. 自立活動の個別の指導計画や指導案づくりを理解し、現場に対処できるようになっているか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>以下を総合的に検討し、判断する。</p> <p>1 積極的参加 (発言、討議、態度、シートの取り組み等) 総合点の40%</p> <p>2 レポート (模擬授業、テストを含む) 総合点の60%</p> <p>*なお、本学規定の「3/4以上の出席」が単位修得の条件であることも判断規準となる。</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<p>・肢体不自由教育は、児童生徒の生命を輝かせる教育であり、真摯な態度で学習に臨む。</p> <p>・積極的に意欲的な授業への参加を期待する。</p>			
13. オフィスアワー	講義開始前後の休憩時間			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	肢体不自由のある子どもの状況	事前学習	肢体不自由とは何かについて説明できるようにしておく。	
		事後学習	肢体不自由のある子どもの状況について説明できるように、アサイメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。	
第2回	肢体不自由教育の現状と仕組み	事前学習	肢体不自由教育の指導の場はどこか、また対象児童生徒の特徴はどんなことかを調べ、説明できるようにしておく。	
		事後学習	肢体不自由教育の現状としくみについて説明できるように、アサイメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。	
第3回	肢体不自由教育のあゆみと「特別支援教育」における肢体不自由教育	事前学習	配布プリントを読み、肢体不自由教育の歴史や登場人物について調べ、説明できるようにしておく。	
		事後学習	田代義徳、高木憲次、柏倉松蔵、結城捨次郎、守屋東、昇地三郎などの人物や肢体不自由教育のあゆみを説明できるように、アサイメントシートにまとめ、確認・実力テスト①の準備をする。	
第4回	肢体不自由教育の目標・教育課程	事前学習	配布プリントを読み、「二葉とあさひ」特別支援学校の教育課程を調べ、説明できるようにしておく。	
		事後学習	「教育課程とは、教育課程の類型化とは」「教科・領域を合わせた指導」などについて説明できるように、アサイメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。	
第5回	「個別の指導計画」と「個別の教育支援計画」	事前学習	配布プリントを読み、「個別の指導計画」「個	

			別の教育支援計画」を調べ、説明できるようにしておく。
		事後学習	「個別の指導計画」と「個別の教育支援計画」の違いや、作成の手順などを説明できるように、アサメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第6回	自立活動① 自立活動とは 指導計画の作成	事前学習	配布プリントを読み、自立活動とは何か、6区分について調べ、説明できるようにしておく。
		事後学習	「自立活動とその内容」について説明できるように、アサメントシートにまとめ、確認・実力テスト②の準備をする。また、自立活動の「個別の指導計画」の作成の仕方を覚える。これまでを振り返り、講師への質問事項を考えておく。
第7回	外部講師による講話 「肢体不自由教育の実際」	事前学習	配布された指導案をよく読んで、事前に講師の自立活動指導例について理解しなかったことをまとめておく。質問事項をまとめておく。
		事後学習	講話の感想や質問事項も含めて、講師へお礼文を作成する。
第8回	自立活動② 健康の保持及びとその具体的指導	事前学習	配布プリントを読み、健康の保持について調べ、説明できるようにしておく。対象児童の実態を考えて文章化する。
		事後学習	「健康の保持」の内容と具体的な指導例を説明できるように、アサメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。対象児童の実態を分担のところを記述しておく。
第9回	自立活動③ 心理的な安定とその具体的指導	事前学習	配布プリントを読み、心理的な安定について調べ、説明できるようにしておく。「実態把握」の案を考えて文章化する。
		事後学習	「心理的な安定」の内容と具体的な指導例を説明できるように、アサメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。対象児童の実態をデーターにする。
第10回	自立活動④ 人間関係の形成とその具体的指導	事前学習	配布プリントを読み、人間関係の形成について調べ、説明できるようにしておく。「指導目標」「項目の選定」の案を考えて文章化する。
		事後学習	「人間関係の形成」の内容と具体的な指導例を説明できるように、アサメントシートにまとめ、確認テスト・実力テスト③の準備をする。「実態把握」から「指導目標」、「項目の選定」までをデーターにする。
第11回	自立活動⑤ 環境の把握とその具体的指導	事前学習	配布プリントを読み、環境の把握について調べ、説明できるようにしておく。分担された「指導内容」の案を考えて文章化する。
		事後学習	「環境の把握」の内容と具体的な指導例を説明できるように、アサメントシートにまとめ、確認の準備をする。「指導内容」までをデーターにして、全体的に指導計画の見直しをする。
第12回	自立活動⑥ 身体の動きとその具体的指導 指導案づくり①	事前学習	配布プリントを読み、身体の動きについて調べ説明できるようにしておく。「指導内容」をもとに指導案の本時の展開構想を発表できるようにする。
		事後学習	「身体の動き」の内容と具体的な指導例を説明できるように、アサメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。「本時の展開」について指導案（ワードのデーター）を書き始める。
第13回	自立活動⑦ コミュニケーションとその具体的指導 指導案づくり②	事前学習	配布プリントを読み、コミュニケーションについて調べ、説明できるようにしておく。本時の展開を仕上げたものの発表練習をする。
		事後学習	「コミュニケーション」の内容と具体的な指導例を説明できるように、アサメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。

第14回	個別の指導計画と指導案に関する発表会	事前学習	各班で発表する個別の指導計画と指導案の発表会ができるように準備をする。
		事後学習	課題レポートについてまとめ、次週に発表できるようにする。実力テスト④の準備をする。
第15回	まとめ 肢体不自由教育について振り返る	事前学習	課題レポートをもとに肢体不自由教育の振り返りができるように準備する。
		事後学習	レジメの重要箇所を確認し、アサイメントシートにまとめる。発表会の反省を受けて、個別の指導計画と指導案を見直して、文書とデータにしたものを提出する。
期末試験			